

報道関係者各位

2025年3月31日

持続可能な社会の実現に向けたサステナブルファイナンスの取り組み

# 群馬銀行による ポジティブインパクトファイナンスの実行について

ケイアイスター不動産株式会社（本社／埼玉県本庄市、代表取締役社長／塙 圭二、以下「当社」）は、2025年3月31日、株式会社群馬銀行（本店／群馬県前橋市、代表取締役頭取／深井 彰彦、以下「群馬銀行」）との、「ポジティブインパクトファイナンス」（以下「PIF」）の契約を締結しましたことをお知らせします。

## 当社グループのサステナビリティについて

当社グループはより豊かな社会を目指すため、「高品質、だけど低価格なデザイン住宅の供給」「サプライチェーン・パートナーシップの高度化」「ダイバーシティ&インクルージョン推進」「職人・技術者の育成」「環境保全」「ガバナンスの強化」の6つのテーマに取り組んでおります。PIFの組成にあたり、当社グループの企業活動がSDGsの目標達成に対しインパクト（ポジティブな影響およびネガティブな影響）を考える活動として、当該テーマについて包括的・定量的な評価を受けました。

< 当社のマテリアリティ >

<p>01   高品質、だけど低価格なデザイン住宅の供給 <span>Social</span></p> 	<p>02   サプライチェーン・パートナーシップの高度化 <span>Social</span></p> 
<p>03   ダイバーシティ&amp;インクルージョン推進 <span>Social</span></p> 	<p>04   職人・技術者の育成 <span>Social</span></p> 
<p>05   環境保全 <span>Environment</span></p> 	<p>06   ガバナンスの強化 <span>Governance</span></p> 

## ■ P I F の概要

項目	内容
借入人	ケイアイスター不動産株式会社
貸付人	株式会社群馬銀行
実行日	2025年3月31日

## 当社グループのサステナビリティについて



P I F とは、企業活動が環境・社会・経済に与える影響（インパクト）を金融機関が包括的に分析・評価（インパクト評価）を行い、特定されたポジティブなインパクトの向上と、ネガティブなインパクトの低減に向けた取り組みを支援する融資です。

本件は、群馬銀行が国連環境計画・金融イニシアティブ（U N E P F I）（※）の提唱するポジティブ・インパクト金融原則にもとづきインパクト評価を行い、その適合性について外部評価機関である格付投資情報センターから第三者意見を取得しています。

※…国連の補助機関である国連環境計画（U N E P）と金融機関の自主的な協定に基づく組織

## ■ P I F にて掲げる目標およびK P I


### (1)環境保全/脱炭素社会への貢献

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトカテゴリー	「気候の安定性」「資源効率・安全性」
関連するSDGs	 
関連するSDGsターゲット	13.3、15.1
取組方針・取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅の供給、太陽光標準装備の実装等を通じて、CO<sub>2</sub>排出量削減に取り組む。</li> <li>すべての戸建分譲住宅に対して ZEH 水準の住宅を提供していく。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国産木材の利用促進により環境保全に貢献していく。</li> </ul>
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ全体（※）のCO<sub>2</sub>排出量（Scope1・2）を販売棟数原単位で2030/3月期までに29.4%削減する（2023/3月期比）。総排出量も維持・削減する。 （実績） 2023/3月期：1.11（総排出量：6,672t-CO<sub>2</sub>） 2024/3月期：0.94（総排出量：6,767t-CO<sub>2</sub>）</li> <li>・グループ全体のCO<sub>2</sub>排出量（Scope3、カテゴリー11）を販売棟数原単位で2030/3月期までに25.9%削減する（2023/3月期比）。総排出量も維持・削減する。 （実績） 2023/3月期：105.85（総排出量：636,238t-CO<sub>2</sub>） 2024/3月期：103.05（総排出量：742,235t-CO<sub>2</sub>）</li> <li>・住宅建築における国産材利用率65%以上を維持する。 （実績） 2022/3月期：52.1% 2023/3月期：55.2% 2024/3月期：69.4%</li> </ul>


※当社及び国内外連結子会社22社（2024/3月期時点）

## (2)ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン推進

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大 社会的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連するSDGs	
関連するSDGsターゲット	8.2、8.5
取組方針・取組内容	・テレワークや短時間勤務などの多様な働き方を積極的に推進す

	<p>る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イクボス宣言等により、育児と仕事の両立を支援し、ワークライフバランスを尊重する社風を定着させる。</li> <li>・女性活躍のための「IKIIKIme プロジェクト（女性従業員による働く女性を応援する商品プロジェクト）など各種プロジェクトを発足させ、社内の意識改革と働きやすい職場環境整備に取り組む。</li> <li>・障がい者によるアスリートチーム（ケイアイチャレンジドアスリートチーム）の発足等を通じて、障がい者雇用促進と活躍を推進する。</li> </ul>
K P I ・ 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性育児休業取得率を 2030/3 月期までに 78%以上にする。 （実績） 2022/3 月期：18.3% 2023/3 月期：25.0% 2024/3 月期：38.3%</li> <li>・女性管理職比率を 2030/3 月期までに 27.8%以上にする。 （実績） 2022/3 月期：9.4% 2023/3 月期：8.7% 2024/3 月期：9.4%</li> <li>・障がい者雇用率を毎期 3.0%以上にする。 （実績） 2022/3 月期：2.57% 2023/3 月期：2.26% 2024/3 月期：2.70%</li> </ul>

## (3) 「高品質、だけど低価格なデザイン住宅」の供給

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリー	「住居」
関連するSDGs	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>

関連するSDGsターゲット	11.3
取組方針・取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未出店エリアを含む各地域へ「高品質、だけど低価格なデザイン住宅」供給する。</li> <li>・KEIAI プラットフォーム（土地仕入れから販売までを一気通貫で管理する独自のITプラットフォーム）を活用し、エリアごとの土地仕入・建築・販売・在庫を常に一定水準に維持し、住宅の安定供給と販売機会の強化につなげる。</li> <li>・コンパクト分譲開発（従来事業者が参入しにくい1~2棟の小ロット区画の開発）により、高品質かつ低価格の住宅供給を拡大する。</li> </ul>
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分譲住宅事業における売上高を2028/3月期までに4,230億円以上にする（2029/3月期以降の目標は改めて設定する）。</li> </ul> <p>（実績）</p> <p>2023/3月期：2,323億円</p> <p>2024/3月期：2,702億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ全体で、快適かつ低価格な戸建て分譲住宅（誘導居住面積水準（※1）を満たし、各都道府県の平均年収（※2）でフルローンによる購入を想定した際に年間返済負担比率が30%以下となる物件）の供給棟数を每期10%以上増加させる。</li> </ul> <p>（実績）</p> <p>2022/3月期：2,498棟</p> <p>2023/3月期：3,204棟（前年比+28.2%）</p> <p>2024/3月期：3,781棟（前年比+18.0%）</p> <p>※1 世帯人数に応じて、豊かな住生活の実現の前提として多様なライフスタイルに対応するために必要と考えられる住宅の面積に関する水準。政府が示す「住生活基本計画」で定義づけられている。</p> <p>※2 政府統計データから直近の金額を採用</p>

## 今後の展開

PIFで設定した各KPIの進捗状況については、ウェブサイト等で情報を開示します。当社は、群馬銀行による持続的成長可能な社会の実現を目指す取り組みの支援およびその他ノウハウの提供、同行の持つネットワークから外部資源とマッチングなどのサポートを受けながら、全従

業員が一丸となってKPIの達成に向けた活動を実施してまいります。

## ■ ケイアイスター不動産株式会社とは

「豊かで楽しく快適な暮らしの創造」を経営理念に、「すべての人に持ち家を」をビジョンに掲げ、『高品質、だけど低価格なデザイン住宅』を提供しています。仕入から販売までを一気通貫で行うリアル×テクノロジーの基盤である「KEIAIプラットフォーム」を構築。テクノロジーの積極的な導入とコンパクト戸建住宅による独自のビジネスモデルによって、国内分譲住宅市場シェアの拡大を図ります。今後も不動産業界のDXを牽引するリーディングカンパニーとして、価値ある分譲住宅を提供していきます。

事業エリアは、首都圏を中心に全国各地で戸建分譲事業を展開。年間 8,202 棟(土地含む)を販売(※)しています。2024 年 3 月期の売上高は 2,830 億円(※)。

(※グループ連結数値)

### 【会社概要】

社名	ケイアイスター不動産株式会社 (コード番号：3465 東証プライム市場)
代表	代表取締役社長 埜 圭二
所在地	〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 762-1
資本金	4,816 百万円 (2024.4.1 現在)
設立	1990 年 11 月
従業員数	2,790 名 (連結 / 2024.4.1 現在)
URL	<a href="https://ki-group.co.jp/">https://ki-group.co.jp/</a>
事業内容	戸建分譲事業、注文住宅事業、総合不動産流通事業 ほか

### 【報道関係者からのお問合せ先】

ケイアイスター不動産株式会社 広報室 広報課

TEL：03-5299-7575 FAX：03-5299-7562 E-mail：[press@ki-group.co.jp](mailto:press@ki-group.co.jp)